

平成二十五年度 高校生世代「人権の詩」  
【優秀賞作品】

“みんな”に言えること

難しい事じゃない

ただ 眼を逸らしているから  
いつまでたっても わかっていない

わたしとあなた あなたとわたし  
同じじゃないの？違いがあるの？

聞いても答えが返って来ないんだ  
お願いだから 押しやらないでください

気丈にふるまうその子は

裏で泣いていることを 誰も知らない  
誰も気付かないで と隠れているけど

わかって欲しい と願っている  
見て見ぬフリをしているのは 私

自由なはずなのに いつまでも進めない  
その子のせい？私のせい？

幸せを掴むために伸ばした手

ああ また堂々巡り  
払われてしまい 暗い底に落ちていく

―なんて生きにくいのだろう―

そう呟いた言葉を聞き流し  
また いつも通りの朝が来たんだ

異様なことだって 気付いてください

もう疲れ切ったその人は

諦めようとしていることを 誰も知らない  
誰か気付いて と前へ出たけれど

声は掠れて音にならずに消えている  
見て見ぬフリをしているのは あなた

正しいはずなのに いつまでも進めない  
その人のせい？あなたのせい？